



第19回大会以降の拡大報告は305人 3月～4月春の組合員拡大月間の推進を

建交労第19回定期大会後の組合員拡大の報告は、2月6日までに「新結成7組織18人、組織内拡大は84組織287人」で計305人となっています。1月～2月は春の拡大月間準備期間となっています。

2018年春闘と合わせて闘う仲間を増やすとりくみの準備をすすみましょう。さらに要求アンケート

の集約や三千万人署名などで結びついた、職場・地域にいる未組織の仲間にしかりと働きかけができるように、「対象者名簿」を作成しましょう。

なお、中央本部が作成する春闘チラシは、2月19日以降各組織に到着する予定です。街頭宣伝などで大いに活用しましょう。

2月6日 現在								
2017年度9月～ 組織拡大数		9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
新結成	組織数	2	0	5	0	0	0	7
	拡大人数	7	0	11	0	0	0	18
組織内	全体組織数	22	41	32	26	9	1	131
	組織数(重複除く)	22	32	15	11	3	1	84
	拡大人数	56	73	70	68	16	4	287
組合員拡大合計人数		63	73	81	68	16	4	305

建設産業で賃上げ・週休2日制を実現しよう

建設労働者の未来をひらく2.4大集会

建設労働者の賃金・単価引き上げや休日確保などの待遇改善を求めて「建設労働者の未来をひらく大集会」が2月4日(日)に東京都内で開催され、550人が参加しました。建交労は生公連の立場で、同集会の実行委員会団体として参加しました。



生公連のとりくみを紹介する神田副委員

主催者あいさつをおこなった、全建総連東京都連の菅原良和委員長は「10

代の大工は全国に2,900人しかいない。若者が安心して働ける建設産業にしなければならない」と訴えました。その後、現場労働者からの発言や各党の国会議員から連帯のあいさつを受けました。中央生公連議長の神田副委員長は、毎年とりくんでいる国会請願署名や地方生公連からの参加者を紹介しました。

終了後は、新宿駅西口にて参加全員で寒風の中、宣伝行動を実施しました。